

台風第12号接近に伴い、印旛沼では予備排水を実施しました。

みずしげんきこう
水資源機構では、台風第12号接近による印旛沼流域での降雨予測（72時間先までの予測総雨量100mm超）に基づき、21日（月）15:00から24日（木）2:15まで、酒直水門（千葉県印旛郡栄町大字酒直）からの放流による予備排水※を実施しました。

この予備排水の実施により約500万m³の排水を行い、約30cmの水位低下を図ることで、印旛沼の水位を常時満水位以下に抑えました（資料－1参照）。

予備排水の実施は今年度に入って2回目となります。予備排水の運用については、昨年10月の大雨を踏まえて今年5月に「印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議」にて基準降雨量の見直しが行われています（資料－2参照）。

※予備排水

洪水が発生するおそれがある場合に、予め水門や機場を操作して排水を行い、事前に印旛沼の水位を下げる操作

令和2年9月25日



独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所

発表記者クラブ

千葉県政記者会

問い合わせ先

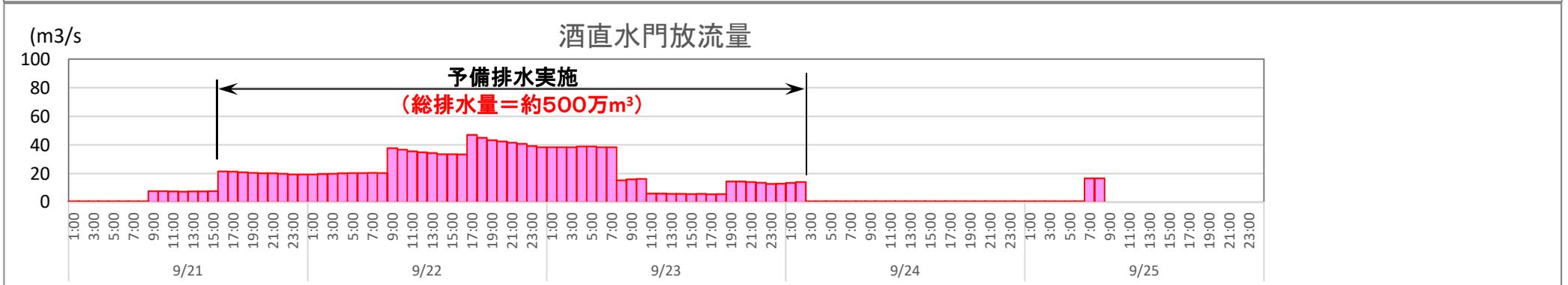
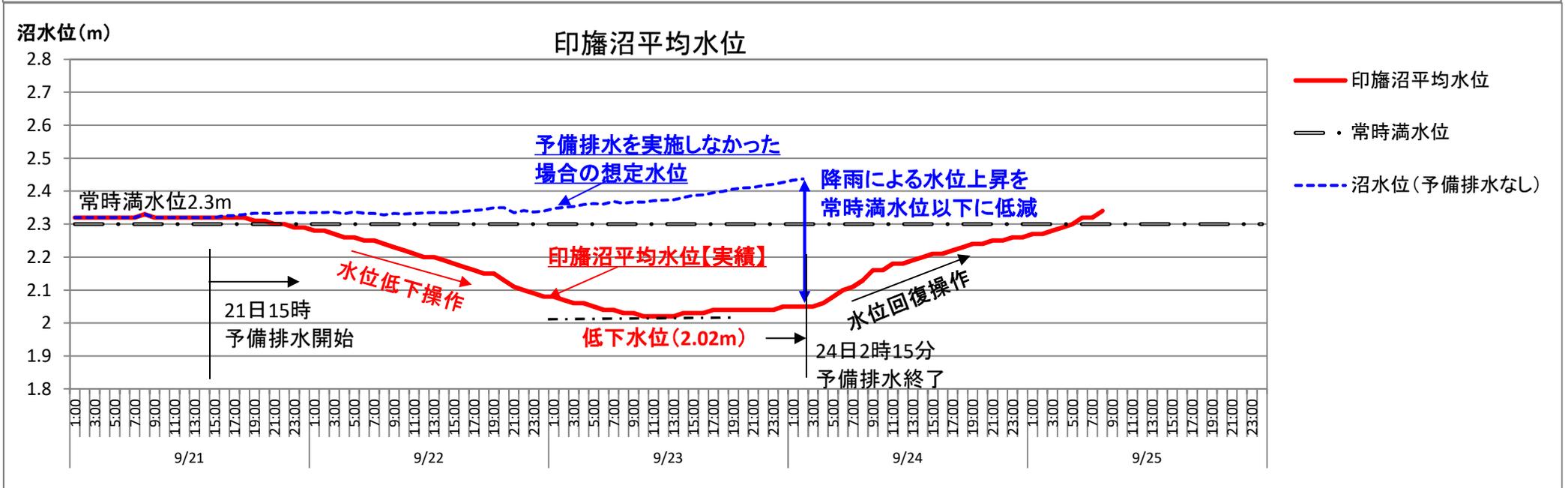
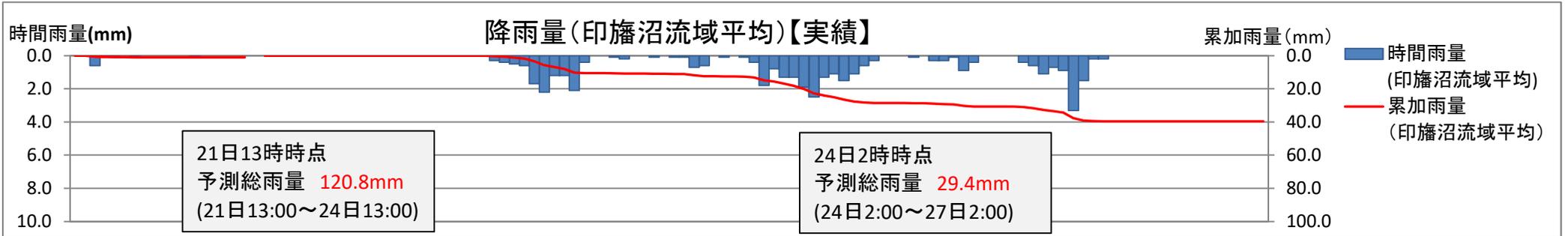
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 総務課長 おだ 小田
管理課長 いちかわ 市川

住 所：千葉県八千代市村上3139

電 話：047（483）0722

印旛沼 予備排水実績図【令和2年9月21日～9月25日(台風第12号)】

資料-1



・予備排水の運用見直し

＜予備排水＞

印旛沼では、洪水が発生するおそれがある場合には、予め水門や機場を操作し、排水を行って、事前に水位を下げることであります。

＜現行の運用＞

基準降雨量：流域の予測総雨量 150mm 超

低下目標水位：Y.P.+2.5(2.3)m → Y.P.+2.0m () 書き 非かんがい期の水位

＜見直し後の運用＞

基準降雨量：流域の予測総雨量 100mm 超

低下目標水位：Y.P.+2.5(2.3)m → Y.P.+2.0m () 書き 非かんがい期の水位

※なお、予備排水開始後に予測総雨量が 150mm を超えない場合は、低下目標水位を Y.P.+2.1m とします。

・印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議

平成 25 年の台風被害を受けて、流域の浸水被害軽減対策等について検討及び調整するため、利水者、治水者、関係市町等で構成される調整会議が発足しました。

(事務局：千葉県県土整備部河川環境課・(独)水資源機構千葉用水総合管理所、
第 1 回：平成 25 年 12 月 25 日に開催)

(印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議構成メンバー)

印旛沼土地改良区、印旛郡市広域市町村圏事務組合、長門川水道企業団、JFE スチール(株)、印旛沼漁業協同組合、千葉市、成田市、佐倉市、八千代市、印西市、酒々井町、栄町、農林水産省関東農政局、(独)水資源機構、千葉県企業局水道部・工業用水部、千葉県関係課(総合企画部水政課、農林水産部耕地課、県土整備部河川整備課・河川環境課)、千葉県農林水産部出先機関(印旛農業事務所)、千葉県県土整備部出先機関(千葉土木事務所、印旛土木事務所、成田土木事務所)

(印旛沼の水位と水の流れ)

